

## 『努力の壺・つぼ』

平成29年のスタートです。あと3ヶ月で新しい学年になる人、新しい学校へ登校する人、また新しい仕事に就く人など様々です。1年の初めは新鮮な気持ちでいろいろな決意をもって「さあ！がんばろう」と思うことであり、自分の目標をはっきり決めて一つひとつ前進していくことでしょう。

今年の目標は何ですか。どんなことに興味と関心をもってがんばろうと考え、行動しようと思っていますか。まだ何も思っていない人は、早めに決めましょう。何も目標を立てずにただ何となく時間を過ごさないで、効果のある時間の使い方をせねばと思います。

ところで、何かをやり遂げたい、こんなことにチャレンジしてみよう、この事だけは特にがんばってみようなどと思った時、神様から「努力の壺」を与えられます。この「努力の壺」にやりたいことをたくさんため込んでいくとやがていっぱいになりあふれ出します。その時は自分の立てた目標が完成したことをあらわします。そしてまた次のチャレンジしようと決意した事に対して「努力の壺」が神様からまた与えられるのです。

ところで、この「努力の壺」には二つの事が待っています。一つ目は、壺の中が見えないということです。どれだけたまっているかなと中をのぞいてみても見えないのです。だから、いつになればいっぱいになってあふれ出すかが予測できないのです。これだけがんばっているのにまだいっぱいにならないのかと中を見ても何にも見えず分からないのです。だからもういやになった、もうあきらめてしまおうかと思うことがあるでしょう。

でも、あと一日がんばったら、あと少しだけ努力したらいっぱいになりあふれ出し、こぼれるかもしれないかもしれません。あとほんの少しだけ頑張ればよかったのにとあとで悔やまないように、もう少しだけ、今日だけがんばろうと気を持ちなおして努力してみましよう。そしてもう一つの事は、壺の大きさや深さが人それぞれみな違うのです。学年で習う漢字を半分だけ覚えようと思えば、壺は小さくていいでしょうが、小学校6年間で習う1006字を全部おぼえて書けるようにしようと思えば、壺はとて大きくて深いものになるでしょう。どうするかは自分で決めましよう。

壺には名前をつけてがんばるのも楽しくなりますね。自分の名前をつけた壺、漢字おぼえ壺、日本の都道府県名壺、県庁所在地の壺、さかあがり壺、わすれもの無し壺、あいさつがんばり壺など自分で決めてそれに向かってチャレンジしましよう。

さて、「さくらそろばん壺」の中に入れるものを誰でもすぐに分かる数字であらわしてみようと思います。

「全珠連1級から3級合格者壺」、「全珠連段位合格者壺」の中に、平成29年中の合格者数を壺のなかにためこんで、100になれば壺からあふれ出すというのはどうでしょうか。

壺がいっぱいになる100人目の人は誰になるのでしょうか、とても楽しみです。具体的な数字ならはっきりしてだれもが分かりますね。

人は何かをしようとした時に神様から「努力の壺」が与えられます。大きさは色々。目的に向かって努力すればやがて壺はいっぱいになります。あきらめずにやり抜く心が大事です。あなたはどんな壺にしますか。何を入れますか。自分が決めてひたすら頑張るのです。あふれるのは自信をもって強く成長した時です。